（廿一日夕刊）

磐城新聞

休刊日 大祭第一第三日曜日
定價 壹枚二錢 壹ケ月五十錢 郵税拾錢
廣告料 雜報欄一行五十錢 （場所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所 磐城新聞社 電話五六四番

發達過程上における我國無産政黨運動と

その社會學的認識

報知新聞平支局　榎本紀一

社會的行動政治的行動の單位は個人でなくて其集團である殊に社會過程を惹き起す要素となつて働くものは集團又は集團の抱合である集團及び集團の抱合の間における各種の交互作用が社會進化の動力のすべてを喚び醒ましその活動を激成するものでこの社會群の成立には或る點にたいて全群の總員に一貫する自然的且意識的共同利害關係が存在する事を必要とするこの社會群の成立に關して或る點にたいて共同利害關係の存在を前提とするといふ事はその共同利害關係の

種類又は性質が必ずしも一樣に限られてゐるものではないといふ事を意味する時々刻々社會進化の法則に從つて動的變化をなしつゝある社會生活上幾多の形態をとつた共同利害關係が存在する從つて必然的に幾多の社會群が成立し得る根據があるそれは政治的のものもあれば經濟的のものもあり宗教的道德的藝術的法律的等あらゆる人間生活の文化內容をそれぞれ表現するものである各社會群は各自の共同利害關係の立場から全社會生活の上にたいて

集團としてのその生活表現のために組織的且つ繼續的に努力するものであるといふ事實の結果として少くとも同じ種類の利害關係の異つた方面を代表する諸社會群の間には窮極においては相容れない絕對的敵對性が成立つ、近代的資本主義國家內におけるブルジョアジーはその內部における思想的交通の疎通とその資本力の優越とによつて

國家勢力の直接の行使者となつてゐる、地主階級とか商工業上の有產者階級を抱擁するブルジョアジーの內部においてこれ等諸社會群は多くの異れる利害關係において相鬪爭してゐるが然し被支配階級を構成する諸社會群に對しては彼等の階級的共同利害關係及び共同思想的交通によつて共同戰線を張つてゐる、自由平等主義の政治思想及びそれに立脚した公民權の概念を具体化するものと稱せられる議會政治はブルジョアジーの

政治的支配及び經濟的搾取のためにも最も有力なる武器でありそれが久しく被支配階級によつてさへも人間が考へ出す限りの最良の政体だと思はれてゐたが被支配階級のかうした魔睡狀態は資本主義的經濟組織の最も高頂に達した今日において大社會群の再來無產大衆の再來によつて呼び起された。

磐新顧問

（照會を歡迎す）

（問）二十四歲の妻、本年一月初產其後通經を見ず昨今姙娠のやうに思ひます、通經が無くて姙娠しますか、又出產後幾日目から通經があるのが普通ですか（百合子）

（答）姙娠後月經を見ないまゝ姙娠することは可能です、然し普通は一回位月經を見ます、また出產後授乳期間は閉經するのが一般ですが、稀には出產の翌々月から通經のある場合もあります

（問）風呂からあがりかけに水をかぶるのは健康上よいでせうか（神田生）

（答）普通の健康体の人であるなら、入浴後の水をかぶることは非常な好結果をもたらします、然し心臟や腎臟に故障のある人には危險です。

（問）一年後返濟の約束で貸た金を支拂能力があるのに期日經過して今以て拂はないのですが取るべき手段を（一愛讀者）

（答）先づ貸金請求の訴へをたこし判決を得て差押へしなさい、而して差押ふべきものが無いなら無資產ですから執達吏の證明を得て破產宣告の申し立をなさいすれば先方で別な處に財產がある場合先方は是を證明するでせうから、是れを差押へ無い時は破產者となります、破產者が所有財產の隱匿を計つた場合詐僞破產者となつて刑事上の追訴を受けますが、大低斯くの如くすれば支拂ふことと思ひます。

明日の吉凶

新曆七月廿二日
舊曆六月廿四日

▲一白　共同事業に手を出すより傳來の仕事が吉し▲二黑　出す事には無事なれど取入れ事に支障多し▲三碧　順調に帆を揚げ大海を渡るが如き開豁の日▲四綠　天の助けありて光明の域に導かるべき日▲五黃　出入を正しくし時を計りて助けば過ち少し▲六白　時を逸せず活氣を落さずば好境に入るべし▲七赤　運氣は外に出でゝ強し內仕事は面白からず▲八白　心を動かされ易し相談事は後日に讓るべし▲九紫　思ひを安靜にし世の潮流に迷はぬ樣すべし

講談

血を洗ふ

（93）

裏と裏

高橋掬太郎創作　布施令八郎挿畫

「成昌殿をた討ち申した者でござるか……」

　且元は急に答へなかつた。そして、彼は清左工門の顏をじつと見つめた。

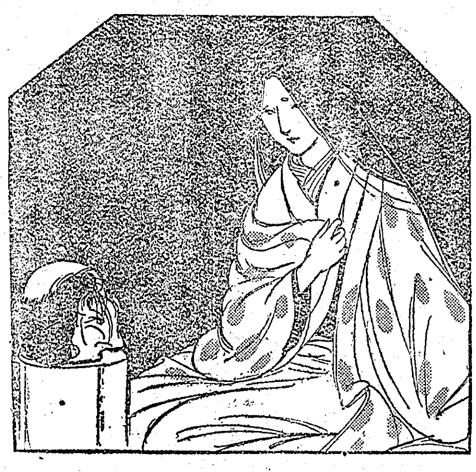
　本當に知らないで問ふてゐるのか、それとも知つてゐながら欺くために問ふのか、且元はその心底を讀まうとした。

「元より、討つ討たるるは戰場の當然決して意趣遺恨を含むためではござらぬが秀吉殿の御臣下でも定めし名のある勇士と存じお伺ひ致すのでござる」

　清左工門には勿論僞首と判つてゐるがそれを眞實の成昌の首と信じさせやうためにかうして應接の駈引に苦心をするのであつた。

　さながら狐狸のばかし合ひ——

「然らば御貴殿には成昌殿の御最期の有樣を御存じないのでござるか？」



　且元は反問した

「些かも存じ申さぬ。今日まで討死遊ばされた事さへも存せず、若しやと案じ乍ら、た行方を探して居つたのでござる」

「左樣でござるか、然らばお話を仕るが、成昌殿を討ち奉つたのは武田の浪人坂上傳九郎と申す者でござる」

「わッ、武田の浪人——」

　清左工門は意外げに訊き返した

「いかにも、武田の浪人にて坂上傳九郎なる者が成昌殿の首級を持つて、主人秀吉の實見に供へたのでござる」

「然らば、主人成昌を討つたるは秀吉殿の御臣下ではないのでござるか？」

「左樣、拙者も詳しくは存せぬが、成昌殿には御敗走の途中に於て、野武士等の要擊を受けて御最期遊されしものとた察し申す」

「左樣でござるか」と清左工門は淚を呑むやうに辭を切つて「して、坂上とやら如何致してござりませう、定めし秀吉殿より重き恩賞を受けてござらう」

「いや」と且元は否定して「坂上奴は却つて重き刑罰を受けてござる」

「ナニ、重き刑罰とな——敵將を討ち取つた功勞の者に却つて重き刑罰とは、如何なる譯でござる？」

「それは我が君が日頃より成昌殿を智勇兼備の名將と敬慕致して居つたからでござる」

「成程——」

「盜賊に等しき野武士の分才で敗走の弱味に附け込んで怨も仇も無き人を討ち果たし恩賞を受けやうなどとは卑劣千萬と我が君にはいたく怒られて坂上の首を討たれてござる」

　と且元は木村又藏が坂上傳九郎を討つた次第から、その首を晒したことまで物語つた。

「已む無き事情より戰端を開き、敵味方とはなつたれ共主君秀吉は成昌殿の御最期を深く惜しませられてござる」

「左樣でございましたか、た話に依つて漸く相解りました。それにつけても、其の場を去らず主君成昌の仇をた討ち下された秀吉殿の御配慮有難く御禮を申上げまする」

　と清左工門は本當に感謝して云つた

　片桐且元は使者の役目を果して歸つた

　そして坂上傳九郎が態と僞首を持參したものでなく成昌の首級と間ちがへて討つたものらしいと推察することが出來たが、それにしては成昌は現在どうしてゐるのかこれだけは疑問であつた。

　且元が去つてから神部清左工門は首桶に蓋をして奧方の居間に伺候した

「奧方樣、只今敵將秀吉の許より主君の御首級が屆けられましてござゐまする」

　と、清左工門は首桶を奧方の前に置いた

「わッ！主君の御首級」

　奧方は驚いて思はず叫んだが、清左工門の眼を見るとすぐにそれと氣がついた

「た氣を鎭めさせられて、御覽遊されまするやう」

　と清左工門は首桶の蓋を拂つた。そこへ襖ががらりと開いた

株式會社平銀行

第六拾貳期營業報告

貸借對照表

資產ノ部

拂込未濟資本金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
貸付金及貸越	四、一四七、三〇一、六八〇
割引及荷爲替手形	一三六、八〇四、〇七〇
他店へ貸	一六五、八五五、五七〇
コールローン	一〇、〇〇〇、〇〇〇
有價證券及諸株式	七三、八八一、二五〇
營業用土地建物什器	五六、六六七、一七〇
所有動產不動產	七〇、四七六、七九〇
預ケ金及現金有高	二三〇、六〇七、〇九〇
合計	六、二九〇、六一三、六二〇

負債ノ部

資本金	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	四九七、五五〇、〇〇〇
諸預リ金	三、七六二、一九三、五九〇
他店ヨリ借	六七、九九九、九五〇
コールマネー	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
第二種所得税	一、一七六、九四〇
資本利子税	四六二、〇八〇
未拂配當金	六二二、〇二〇
未拂利息及未經過割引料	一七六、七一〇、〇八〇
當期純益金	八三、九〇七、〇〇〇
合計	六、二九〇、六一三、六二〇

利益金勘定

當期純益金　金八萬參千九百七圓也

之レヲ處分スルコト左ノ如シ

金貳萬參千圓也	諸積立金
金參千圓也	重役賞與金
金貳萬八千貳百圓也	配當金（年七分五厘）
金貳萬九千百七圓也	後期繰越金

右之通リ候也

昭和二年七月

株式會社平銀行

專務取締役頭取　山崎與三郎
常務取締役　木村清治
同　掘江正治
同　高岡唯一郎
同　白井博之
常任監查役　新田目善次郎
監查役　安島重三郎
同　吉田禮次郎

追而監查役全員滿期改選ノ處孰レモ再選重任ニ決セリ

第六十三期貸借對照表

資產

諸貸付金	四、六六八、三二一、四〇六
當座預金貸越	九五八、七四七、五七〇
割引手形及荷付爲替手形	三三、六八七、一八〇
他店へ貸	五二、七九五、〇一〇
預ケ金	五五、四〇四、五〇〇
諸公債證書及社債券	四七五、四〇四、七五〇
株券	一〇六、八七〇、二八〇
營業用及所有地所建物	一三〇、五七七、五三〇
雜勘定	五、二六九、三一〇
現金有高	二七三、〇一五、三三〇
計	六、九九九、一一三、七五六

負債

資本金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	五一三、三九六、〇〇〇
諸預リ金	三、八五九、九三〇、七二六
日本勸業及日本興業銀行勘定	一、〇八〇、六七〇
他店ヨリ借	一七〇、四四六、五〇〇
借入金コールマネー	二九五、〇〇〇、〇〇〇
再割引手形	一、二六一、〇〇〇、〇〇〇
未拂配當金	一、二〇八、〇〇〇
未拂利息及未經過割引料	五三、五三三、五三〇
本支店未達勘定	七、八二一、三四〇
第二種所得税及資本利子税	一、六三三、九八〇
當期純益金	八四、〇六二、〇一〇
內前期繰越金	三五、三二六、五四〇
計	六、九九九、一一三、七五六

準備金及利益配當案

一當期純益金金八萬四千六拾貳圓壹錢也

是レヲ處分スルコト左ノ如シ

特別積立金	金貳萬圓
行員退職給與積立金	金參千圓
役員賞與金	金貳千八百圓
配當金（年七分五厘）	金貳萬八千百貳拾五圓
後期繰越金	金參萬四百參拾七圓壹錢

右之通リニ候也

昭和貳年六月三十日

株式會社

磐城銀行

專務　白井一郎
取締役　白井博之
同　木田織江
同　安島重三郎
同　山崎與三郎
同　諸橋久太郎
監查役　高岡唯一郎
同　小野晉平
支配人　草野順平

追而取締役一名選擧シ處草野順平當籤就任ス

◈今夏の流行

◎地質　紋紗縮緬、紋ジョーゼット等の外フレイシユール、ジョフレージョーカなどの新製品が御好評を博して居ります。

◎色合　時代調、モダン調の二系統に分れて居ります。時代調に屬するものは朱、藤、青磁、淺黃等でモダン調としてはローズ、グリーン、コバルト等を擧げることが出來ます

◎模樣　矢張り時代調とモダン調の二つに大別されて居ります。時代調は古代の能衣裳及び小袖等に見られる處の織物、鮫、刺繡等の眞髓を骨子といたし之に現代的の新味を加へた純日本趣味のもので御座います。又モダン調は歐米最新の圖案及び美術工藝品からヒントを得まして之を日本化したもので御座います。

◎帶地　丸帶と片側帶の地質は紋紗織、銀通し絽、壁絽、紋絽等でありますが何れも單なる織物よりは染織併用又は染と刺繡の併用されたものが流行いたして居ります。又單帶には涼佳織彩美織、ベルワーヅ、翠粧織、八雲織、銀洋染等の別がありますが大部分は博多から變化した壁風の地質で之は純粹の織物と兩面を變へた染物との二種類が同じ樣に御好評を得て居ります。

　この度の出張陳列即賣は之等新柄の吳服類及び浴衣地の外、流行の雜貨、洋傘、御子供服、洋服既製品、雨傘カーテン、下駄、玩具籠、海苔、鰹節、茶、罐詰類等を潤澤に取揃陳列いたします。猶特に刮目してお待ちを願ひたくと存じますのは、格安品、德用石鹼、各種均一品を多數に携行いたして平素の御愛顧に酬ひる企てで御座います。開店の曉は何卒御誘合され御來觀の程偏に御願ひ申ます。

來る七月二十六日二十七日兩日
平町南町元郡會議事堂にて

三越吳服店陳列會

劍戟亂闘空に海に陸に起る

プログラム

●市川市丸、兒島三郎、澤村春子……共演

幕末劍史　**憂國の少年**　全　巻

世は德川の幕末尊王佐幕の聲喧しき頃黑潮の香も高き土佐の藩中にも御多分に漏れぬこの二派が互に鎬ぎを削つてゐたのであつた、勤王の美少年は幕吏と爭い女賊の爲め救はれたが又も捕手がせまる女賊は美少年のため、戰い倒れた。

◎大日活本年度特作監督阿部豐氏
主なる出演者　中野英治　岡田時彦　梅村蓉子

空陸海大亂闘大戰劇　**新日本島**　全八巻

この物語りは常に風強き浪荒き南支那海に主なる關係を有してゐる空中にひびく怪飛行船大戰爭映畫

日活時代劇部監督波多野安正
桂武男　櫻木梅子　尾上華丈　市川百之助　助演

劍戟亂闘　**大義**　全七巻

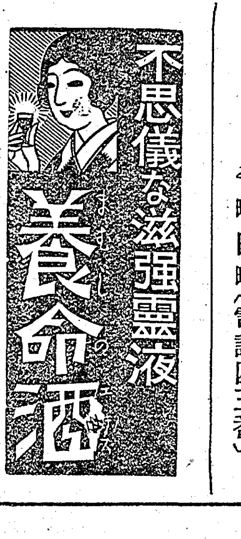
幕末の或る夜暴風雨に乘じて勤王派の公卿西洞院秋房郷の邸宅を襲つた一隊の覆面の武士は秋房保管の薩長連衛の成否を右左すべき大切なる某官家の御親書を奪つた

當ル廿一日ヨリ封切　**平舘**

◎開始◎　柳川
御一人前　四拾錢
出前迅速

本年も相變らず御贔負の程願ひます

牛肉御料理　石川亭
平町田町（電話四三番）



肺結核、肺炎カタル、ロクマク、性的不能、神經衰弱、不眠性、貧血症、婦人病等の特異靈劑なり、其偉効に實驗者は驚く賣行きの增大するを與て其眞價を立證せらる、惱み苦しむる人々の一大福音なり
此際是非御試用を切に勸む
定價　一、五〇　二、〇〇
代理店　山野邊藥局
平町五丁目角

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絕對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

情緒豐かな鄕土の藝術
皆さんの土　皆さんの水
東北の山　河が生んだ
懷かしの俚謠
其他新譜色々到着致しました。
平町四丁目
會田時計店
電話三六三

南町の飲食店を一劃に集めたい

資金を借りて住宅組合

風紀と町の發展策

平町が市制實施への第一歩として昨年南町裏新道路の開鑿をなし昨秋これが完成を見、その後同方部には逐ふて家屋が**新築され**今では國道筋にも劣らぬ立派な市街地を形成するに至り數ケ年の後には平町の中心地となるであらうと見られてゐるが同新開地附近には現在六十餘軒の飲食店が軒を並べていかがはしい白首の女に張店をさせ公々然と風紀を亂してゐるので平署でも捨て置けず相當取締つてはゐるものの飯の上のはへ同樣容易に矯正されずまた飲食店でも營業である以上ある程度までは止むを得ぬ事情もあり當局でも全く手古摺つてゐる有樣でこれがため南町方部の發展を**阻害される**ことが夥しく折角住宅が新築されても借手が二の足を踏むといふ現在であるため同町方部有志の間にはこれ等飲食店を遊廓同樣一定の場所に纏めて他に移轉せしむべくその筋から低利資金を借受けて新川堤通りに飲食店向きの貸家を新築し一纏めにしたならば風紀の上からもまた平町の發展の上からも結構なことであらうと最近眞面目に考へられるに至つた

昨今殊に目に立つ平町の貸し家

家賃も一二割方下る

疊一枚一圓見當

平町は最近著しく開拓されたに伴ふて貸家の建築が近年激増した結果は今や住宅難どころか貸家札の家屋を見るは勿論場所によりては一ケ月二ケ月も**空家まゝ**となつてゐるが珍しくないこの住宅過剩の原因は一般の不景氣により都會集注の傾向が緩和されたのや生活狀態の收縮（家族の分住を廢止）やであらうけれど一面には採算上から出發した貸家建築の増加であることも到るところの實情に照らして明かである然して斯くも空屋の多くなつたに對して肝腎の賃貸料はどうかといふにこれもまた需給關係に支配されて一二割方の引下げ氣分を示してゐるされど賃率は未だ一般に通用されるものではなく空屋となつて容易に從住者の見當らないものに限られてゐるが若しくは**新建築で**も交通上に不便を感ずる箇所であつて商店街や至便な方面は疊數の步合ではなく全く利便の程度によるのである普通住宅の賃貸料は疊一枚當り一圓以上でそれ以下などは特殊關係に屬するものゝみであつたけれど最近契約さるゝものは先づ一圓見當が若しくはそれ以下が通例となつて來た邸宅街や場末における新住宅の建築は小規模のが多いのでこの方へ移住するむきが多數を占めるため比較的大型のは何時も殘る氣味である

鋸と鉞鉋

（投書歡迎）

繼子扱ひ

◇生徒、兒童が如何にして過こしてよいか、親達が如何に過ごすべきか每年同じ樣ながら煩悶する夏休みが到來した。

◇金のある親達はヤレ温泉だ海水浴だと涼しい處に追やられ樣が我々貧乏人は年に一度位幾つた處でせめて三日位でも良いからノンビりさしたいとは思ふものゝ親心丈で何より先にものをいふ黄金が工面が出來ぬ。仕樣がないから朝から晩まで狹苦しい家で子供本來のヤンチャを發揮して貰ふより他はない。

◇唯でさへ暑苦しいのに、ヤンチャされては益々暑くてヤリ切れたものでない、と云つてウルサイと云つて怒鳴る事はウルサクなくする力のない自分を自分から認め子供の純眞な『王國』を破壞する事になる、貧乏だから仕方がないのだと諦める他はない、それにしても一日も早く夏休みの過ぎ去らん事を願ふさもしい心持になるのだ

◬近ごろ大流行の臨海とか温泉學校とかにさても行かせる事が出來ないのだいくら良い御計畫を樹てられても參加し得ねほど貧乏な狀態に置かれてあるのだ、結局斯樣な結構な企ても一部の人のために過ぎぬ、僅か二十名か三十名かの子供等のため施設としか思はれぬ。大多數の貧乏人の子供のことは考へてゐぬのだ、夏休みの課題とかいふ厄介物も狹苦しい家で然も暑い最中は無理な注文だ、大多數の子供の事を考へす一部子弟のための企ては感服出來ぬ

◇餘りに不均等でないか、餘りに我々の子供を繼子扱ひにするのではないかこんな不均等な企てはます／＼子供の心をヒガミ根情にしてしまふのだ、大多數の子供のことも考へて欲しいものだ。

（都會のプロ）

組合の數字に出た農村の懷中具合

春繭の金が浮いて

相當に豐からし

石城郡地方の春蠶の收繭額は既報の如く前年に比し約一割一分減の八萬四千貫內外でありまた繭價安のために前年より地方農村に落ちた金は大分少いが一般養蠶家の自覺によつて從來の弊風であつた延取引が改善され大部分は現金取引をなしたので昨今農村の景況は一時的とはいへ**活況を呈してゐる**、各町村の產業組合に就て見るに從來農村の疲弊を慣習上から固定貸付けが極めて多く資金の融通圓滑を欠き當業者も組合の整理に就ては相當頭を惱ましたものであるが昨今農村は上述の如く懷工合が稍良好に轉じたので回收狀態もよく延いては資金關係も圓滑に運ばれる樣になり同時に組合の預金も增加して來たので組合當局者はこの機を逸せず大に組合趣旨の宣傳普及に努め預金の增加を計り**金利の低下**を誘致せしめ從つて預金利率の引下げも誘導し銀行との差額をなるだけ狹くして眞に農村金融機關として完備せしむる方針であると

石城郡下の夏秋蠶增加

三四割位の

石城郡地方夏蠶發育狀況は一般に良好で山手方面は一二眠中洪地方は殘桑豐富の關係で三眠中であるが夏秋蠶はき立豫想は昨年の二萬一千二百七十九枚に比して本年は春蠶の取高が成績思はしくなく勞力分配も不良であつたのに鑑み夏秋蠶で回復すべく各養蠶家とも大馬力をかけてゐるので郡養蠶同業組合では約三四割方の增收を豫想してゐる

川前村長問題

益々紛糾

けふの村會で

石城郡川前村長永山德一收入役遠藤千代藏兩氏は既報の如く郵便局員藁太光治（二六）の敎育費國庫下渡金橫領事件からその責任を感じつひに辭表を提出したが取敢へず同村書記松本武雄氏が收入役として就任することとなり村長選擧會は本二十一日午前十時から開會することになつたが暗中飛躍をこゝろみるものあり兩派反目し合ひ役場派では永山氏の再選を非役場派では元村長矢內米藏氏を擧げんとしてゐるが結局は永山氏の再選とはなるであらうが相當波瀾は免れまいとのことである

松崎の主人

福島で盜難

枕元の五圓を

平町一丁目松崎安（四三）が十九日午前二時福島市榮町須田旅館に投宿中勝手口より賊忍び込み枕もとに置いた現金五圓餘在中の蟇口一個金側時計を竊取された、屆出により福島署で犯人嚴搜中の處十九日夜市外瀨ノ上町遊廓に登樓してゐた元同旅館の番頭にして不都合のかどで去る十日解雇された山形縣東置賜郡中郷村生れ竊盜前科一犯齋藤友近（三七）の所爲と判明本署に引致し餘罪ある見込目下取調べ中

稻荷神社から

名刀を盜む

小川の四郎

上小川村字小川生れ住所不定無職國井四郎（一九）は十三日午後三時頃平町舊城趾の晋ヶ岡稻荷神社々掌坂本松衞方の留守中に忍び入り床の間にあつた本城祐定の名刀價格八十圓と賽錢若干を竊取逃走平署で嚴探中二十日午後九時半頃平署員に捕はれ餘罪ある見込で取締中であるが逃走後小名濱、泉、磐崎、湯本、草野、四倉、久の濱、廣野、平地方を荒し竊盜十三件被害數百圓に上つてゐる

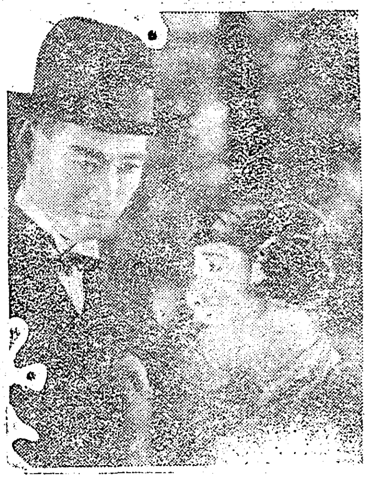
片降りの天氣で

水稻へこたる

若し暴風でもあらば

倒れる心配あり

石城郡地方は七月に入つて以來毎日の如く降雨がありために農民は農作物に及ぼす影響を頭痛に惱み天候の恢復をまつてゐるが同地方の水稻は目下分蘗の終了期であるといふに近來の降雨續きが惡影響となつて分蘗は良好でなく反對に草丈けだけが伸び過ぎたため更にこの上豪雨があつたり暴風でも來れば稻は皆倒れて了ふといふ恐るべき狀態に陷いつてゐるのが各地に認められるの有樣で殊にこれからの天候がよくなつて稻が若返り分蘗を行つたとしても今時分分けつを行つたものは有效分けつとはならず從つて完全なる稻穗がつかぬものでこの分では今秋の收穫は憂慮すべき結果を齎らすではないかと氣遣はれてゐる一方畑作物も滅茶苦茶の打擊を受け思はしくない結果を招來してゐる



異國の娘 ○[illegible]作品、上村節子、五味國太郎主演……[illegible]日本に流れて來た、[illegible]知らぬ異國に第一歩を下した時[illegible]を待ち受けて居たのは無頼の徒の誘惑であつた、彼女は恐ろしい[illegible]の手によつて操つられた、そうした時彼女に心から同情を寄せて呉れる[illegible]があつた、其[illegible]心を受入れるのも束の間、彼女は[illegible]しい[illegible]に[illegible]がある、[illegible]つた、而も其心[illegible]しき[illegible]に[illegible]しては自分から身を[illegible]くの他なかつた。美しき日本の人々よ彼女は[illegible]しく故郷へ歸つた。

野良付き少年

說諭を喰ふ

けふ親元へ

岩瀨郡梓衙村大字木ノ崎字宮ノ花金吾弟吉田利男（一六）は實家が貧困なため二年前同郡須賀川町八幡下馱屋平栗德太郎方に徒弟として住み込んだが性來怠慢で仕事もろくにせず去る四月中無斷家出し平町に流れ込み寺院神社の緣の下に起臥し附近の民家から食物を盜みとつてゐたうち十九日平署刑事に逮捕され廿日實母が同人をひき取りに來たので將來を懇々と戒しめて歸宅せしめた

勿來町方面の

桑園に病害

豫防に腐心

石城郡下の桑園の姬像蟲及び具報蟲の驅除に就へては各被害町村に於て大部分の終了を告げ今の處再發の憂ひ殆んどなく當業者は漸く安堵した折柄數日來勿來町方部桑園に蕊止玉蠅が盛んに發生し共の被害多大に上る見込なので廿日石城郡養蠶同業組合から成田技手出張調査したが取敢ず驅除策として被害桑蕊を切採し新芽を發芽させる事に初めて居るが其の驅除法極めて手數を要する爲め完全に行かず漫延の兆候である

決議の取消しだけでは

勸忍罷りならぬ

高木町長と四町議に

區民が辭職勸告

湯本町の區會廢止問題は既報せる如く町會の決議は越權不當なるものであると認定した縣當局は不日右決議を取消す意中に在るを聞いた町會側は極度に狼狽し昨二十日午前十時より町會を開き善後策を協議した結果比佐昌平、若松利惣治、塙信人諸氏の仲裁者に白紙を以て委せる事となつたが區會側では仲裁案等に耳を藉さず當然な決議の取消等を以て滿足されるものではなく當初區民大會の決議に基き問題の中心人物と見るべき高木町長外町會議員四名に辭職を勸告すべく實行委員はその行動を開始したが町長並に町會議員は既に自己の非を悟りたる折柄辭職は既定の事實と見られてゐるが斯の如き明瞭なる問題を平氣で決議し遂ひに此の終末を見るに至つた事は町會の面目を臺無しにしたもので廣く社會の嘲笑を購つてゐる

白銀區長慰勞

けふ小名濱海岸へ

白銀町高橋龜松氏外有志發起となり新舊區長の慰勞會を兼ね二十一日小名濱町水產工業大敷網等を見學清遊した

平町戶籍視察

宮城縣古河區裁判所管內各町村役場戶籍吏員七名は廿一日午前十一時來平し平町役場戶籍事務の視察をなした

黨派心を捨てて

山崎氏を推擧

けふ推薦狀を發した

平町の賃貸委員

平稅務署管內賃貸委員選擧はいよ／＼來る二十五日執行する事となり各町村とも夫れ／＼候補者の選衡中であるが平町では政黨を超越し人格識見の卓越せる山崎與三郎氏を推擧する事となり政友會民政黨の有志連名で推薦狀を發送し無競爭で當選を期する事となつた因に

推薦狀

謹啓盛夏の候愈々御清榮の段奉賀候陳者今回來廿五日執行の土地賃貸價格調査委員選擧に際し政黨を超越し全町一致を以て人格識見卓越せる山崎與三郎氏を推薦致し候間御贊成相成度奉懇願候

昭和二年七月二十二日

（イロハ順）

（政友會代表）井上茂作
永山和平　山田磐麿　新田目善次郎　白井一郎
諸橋守次
（民政黨代表）荻原義雄
吉田五平　村上榮　野崎滿藏
（中立代表）中野甲藏
草野順平　青沼鋒太郎
佐藤作平
外平町々會議員一同

小名濱町議

政友大會出席

商港速進懇請

小名濱町縣議小野晋平氏外町會議員並に有志は來る二十四日福島市に開く政友支部大會に擧つて出席し田中總裁鈴木內相等に面接商港速進について懇請する筈である

時言

平町の賃貸委員選擧で犬猿の政、民兩黨珍らしく手を握つて和議を宣す、まことに結構なことに相違はない

□

だがどうせ民政黨は初めつから此の選擧で戰ふ能力がないのだから、妥協と出る方が男前がよくて恥もかゞずに濟む譯だ

□

して見ると無能力の民政黨を迎ねて平等權の行使に甘むじたのは政友派が一本乘せられたと申すものだ

□

そして此の場合推薦狀に何も殊更ら政友、民政の色分をせなくもよかりそうなものだ、それに中立代表とは全体何の譯だ

□

湯本町會自己の不明と非を晒した今日白紙で委せるは聞いて呆れる、何の面目があつて業々しくも善後策の協議なぞが出來たものだ

一度服用して見て
其効能の絶大には誰方も驚く
歷史も信用もある
呼吸器病の家傳靈藥
御藥 加減清肺湯 を
はい病、ろくまく炎、しんぞう、ぜんそくに
て、タンセキ、イキギレ、ドウキ、ネアセ、
カルイネツ、頭痛等が幾日も續くお方は……
今すぐ召上れ
發賣元
加減清肺湯 佐々木商店
磐城平町公園前

外科、耳鼻咽喉科
內科、泌尿器科
X光線科
外科 赤心堂病院
平町字田町
電話四七五

ニクはミフミ
2×9=3×2×3
モシ。モシもミフミ
モ4+モ4=3+2+3
電話三二三 肉店

鐵筋コンクリート
鐵骨組立　土木、建築、請負業
和洋建築　合資會社
文化式建築　丸三森川組
設計監督　社長 大森鎮平
東京日本橋南茅場町二〇
電話茅場町66四五二番

亡母 葬儀の際は御鄭重なる御香典を賜り且つ遠路の處態々御會葬被成下有難奉深謝候實は一々拜趨御禮申上處乍略儀以紙上御厚禮申上候

昭和二年七月二十一日

豐間村
鈴木昌雄
外親戚一同